



令和2年度 秋田県総合教育センター

総合教育センターだより

第179号

令和3年2月22日発行

〒010-0101 瀧上市天王字追分西29-76

TEL 018-873-7200 (代表)

<https://www.akita-c.ed.jp>

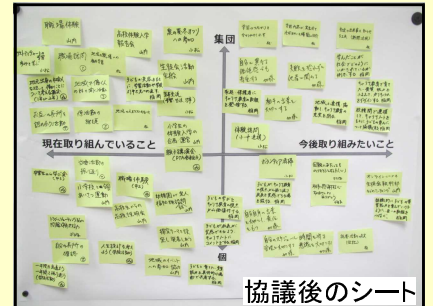
令和2年度 センター研究のご紹介

～基本研究課題：未来を創る子どもに「生きる力」を育む学校教育の推進～

当センターでは、本県の教育課題の解決に向けて、様々な角度から教育研究に取り組んでいます。今年度取り組んでいるセンター研究は全て2年研究の1年次に当たります。詳細につきましては、3月下旬に別途配布する研究紀要や当センターのウェブサイトをご覧ください。ここでは研究の概要を紹介します。

【センター研究1】実践的指導力習得期にある教員育成のための校内研修プランの提案

実践的指導力習得期にある教員の校内研修の充実に向けて、1年次は習得期の教員が抱えている悩みや校内研修の現状と課題を把握・分析し、「秋田県教員育成指標」に基づいた、より多くの教員との関わりを促すワークショップ型の校内研修プランを作成しました。進め方等を示した「研修例」のほか、パワーポイントのスライドシートと進行台本、使用するシート様式を揃えた「研修進行例」により、事前の準備等が容易で、30分という短時間でも深まりのある意見交換ができるよう工夫しています。



協議後のシート

【センター研究2】子どもが資質・能力を活用・発揮できる授業づくりに役立つアイデアの提案

学習指導要領及び学校教育の指針で、授業において資質・能力の活用・発揮を重視していることを受け、子どもが資質・能力を活用・発揮できる授業づくりに役立つアイデアについて研究を進めています。1年次となる今年度は、当センターで構想した各教科のアイデアを、研修講座の演習の一部で受講者の皆さんに体験していただき、その感想を分析するとともに、アイデアの改善に取り組みました。



太陽の直径を求めるアイデアを体験

【センター研究3】学びにくさを抱えた児童生徒の理解と学習上の配慮

—特別支援教育の視点を生かして—

特別な教育的支援を必要とする児童生徒が増加傾向にあり、通常の学級においても、一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導や支援を行うことが重要です。アンケート調査を行い、県内の現状把握に努めた結果、「書くこと」に関して学びにくさを抱えている児童生徒が多いことが分かりました。そこで本研究では「書くこと」に着目し、児童生徒の理解と指導方法、ICTを活用した手立てについて研修講座資料としてまとめました。



令和2年度 秋田県総合教育センター研修員 教育課題研究成果発表会

当センター研修員による教育課題研究成果発表の場でもある「秋田県教育研究発表会」は、今年度、新型コロナウイルス感染症拡大予防のためやむなく中止となりました。それに代わる場として、2月3日（水）に、参加者を研修員の所属校の先生方に限り、「研修員教育課題研究成果発表会」を開催いたしました。研修員一人一人が、所属校の協力の下に取り組んできた一年間の研究成果を、県内の各学校で広く活用していただきたいという願いを込め、自信をもって発表しました。



初任者研修講座 閉講式 ～1年間の研修お疲れ様でした～

1月6日（水）に、初任者研修講座全校種の最終期を実施しました。閉講式は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、一部校種を別研修会場からのリモート参加で行いました。受講者の振り返りからは一年間の研修を終え、今後の授業づくりや学級経営などに向けた決意がうかがわれました。



小学校・高等学校・特別支援学校（講堂）



中学校（大研修室）

振り返り票から

- ・研修で学んだことを、各教科の指導や学級経営などに取り入れながら行うことができました。学級活動では合意形成を図る場面で研修の内容を生かし、多数決だけでなく二つの意見を合わせたり新しい考えをつくったりするなど、いろいろな方法で決めることができるようになったと感じています。また、社会科や算数科ではICT機器を授業の中で活用することができるようになりました。今後も研修で学んだことを生かして取り組んでいきたいと思えます。【小学校】
- ・1年間の研修を通して、特に教科指導力が向上したと思えます。同じ校種で同じ教科の先生方の授業を見て、よかった点や改善点を協議する中で、自分一人では気付くことができないことや他の先生方から学びたい技術や手法がたくさんありました。この研修を通して「もっと教材研究したい！もっと分かりやすい授業をしたい！」という気持ちが高まりました。2年目以降も、この気持ちを大切にして「楽しい、おもしろい授業」ができるように努力を惜しまずに頑張っていきたいと思えます。【中学校】
- ・この1年間を通して、授業をする前の準備の仕方が大きく変わったと思えます。生徒に対して何を伝えたいのか、それを伝えるためにどのような工夫をすればよいのかということを考えるようになりました。自信をもって授業をすることができ、また、授業改善がしやすくなりました。まだまだ教えていただいたことを全て実践できていませんが、生徒のために全力で頑張っていこうと思えます。【高等学校】
- ・特別支援学校での授業づくりや小学校における各教科の内容について、様々な視点から学ぶことができました。年度の途中でしたが、授業における学習環境づくりや日常生活の指導につながる学級の雰囲気づくりなど、研修で学んだことを実践するように心掛けたことから、一つ一つの学習にまとまりが見られるようになったと実感しています。この1年で学んだことを年度末に再度見直し、来年度よいスタートを切るできるよう準備していきたいです。【特別支援学校】